



各 位

上場会社名 イフジ産業
 代表者 代表取締役社長 藤井 徳夫
 (コード番号 2924)
 問合せ先責任者 常務取締役総務部長 仁田坂 功
 (TEL 092-938-4561)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,618	176	171	89	16.13
今回発表予想(B)	5,190	31	22	0	0.10
増減額(B-A)	572	△145	△149	△89	――
増減率(%)	12.4	△82.4	△87.0	△99.4	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	4,292	50	46	26	4.84

修正の理由

1. 売上高の修正

鶏卵相場(東京M基準値)が7月において前年同月に比べ33.1%(48円)高くなっており、当社が予想した数値よりも高く推移しております。そのため、鶏卵相場に連動する液卵の販売単価が当初計画よりも高くなる見込みであります。また、平成20年7月16日に「業務用液卵・冷凍卵の価格改定」を公表し、販売価格の改定を8月1日より積極的に実施していることもあり、これを踏まえて売上高の予想を修正いたします。

2. 損益の修正

前事業年度同様、積極的な原料買付けによる在庫政策による原価低減を進めておりますが、大手鶏卵販売会社による価格改定の発表やえ付け羽数の減少に伴う鶏卵生産量の減少懸念等、原料である鶏卵の買付け環境が大変厳しくなっております。このような状況を踏まえ、当社におきましては、販売価格の改定を実施しておりますが、改善が見込まれるのは、秋口以降と見込んでおります。そのため、原料買付けが依然厳しい状況を踏まえ、第2四半期累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、上記の販売価格改定の実施を行い、これらが今後の業績に寄与してくるものと考えているため、現時点においては変更しておりません。

しかしながら、鶏卵市況の動向に大きく影響を及ぼす穀物相場の動向の見極めが困難な為、第2四半期発表時に、改めて見直しを行う予定です。

※本資料に記載している業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、これらは、今後の経済環境、業界環境、鶏卵市況の動向、競争状況等の変化により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上